



信州職人学校について報告する秋山コ
ーディネーター

建築に関わる45人が参加

信州伝統大工養成セミナー

県建設労働組合連合 工養成セミナーを、同
会(松本市宮淵)は23 市寿北の県松本技術専
門校で開いた。建築に
日、第3回信州伝統大

関わる45人が参加。木
造建築の可能性や課題
について理解を深め
た。

中堅大工を対象に2
009年から開いてい
る「信州職人学校・伝
統大工コース」の一環
で開催。同校コディ
ネーターで、ものづく
り教育や伝統木造の普
及に取り組む秋山恒夫
さん(埼玉県)が、「信
州職人学校4年間の歩
みと今後の課題」を報
告した。

習、公開講座や研修な
どで学ぶ。修了者は県
知事認定の「信州伝統
大工技能評価試験」を
受け、全体の2割が合
格したと伝えた。

さらに、「最も重要
なのは修了後。今後の
成長が見込めるリフォ
ームや、耐震診断・補
強方法に伝統構法を取
り入れる研究開発、学
校OBを中心とした交
流ネットワークの構築
が必要」と強調した。

セミナーでは講演会
やパネルディスカッシ
ョンもした。

若手育成を目的に開
く信州職人学校は、経
験に応じて基礎コー
ス、応用コースを設け、
6-11月に座学と実

同連合会は、第3期
伝統大工基礎コースを
6-11月の毎週土曜日

に開講、応募を4月8
-26日に受け付ける。
定員15人、受講料4万

8000円。同会 ☎
7200